

COMPAQ

DR Tapeソリューション
リファレンスガイド

第2版 (2001年4月)
製品番号 225231-192
コンパックコンピュータ株式会社



225231-192

ご注意

© 2001 Compaq Computer Corporation
© 2001 コンパックコンピュータ株式会社

Compaq、CompaqロゴおよびSmartStartは、米国Compaq Computer Corporationの商標です。SoftPaqは、米国Compaq Information Technologies Group, L.P.の商標です。

コンパックのサービス ツール ソフトウェア（これに付随する文書を含む）は、Compaq Computer Corporationの財産であり、機密技術が含まれます。サービスの提供を受けるお客様は、コンパックまたはコンパック正規保守サービス会社によって提供される当該サービスの提供に直接関連する行為に限り、当該サービス提供期間内においてのみ、ソフトウェアを使用することを本書により許諾されます。お客様は、コンパックまたはコンパック正規保守サービス会社による許諾なしに、ソフトウェアを改変、リバースエンジニアリング、削除、または譲渡しないものとします。また、お客様は、コンパックまたはコンパック正規保守サービス会社による許諾なしに、ソフトウェアあるいはいかなる動作結果の診断またはシステム管理データも第三者に利用させないものとします。サービス終了時にお客様は、コンパックまたはコンパック正規保守サービス会社の判断により、ソフトウェアおよびこれに付随する文書を廃棄または返却するものとします。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。本書の内容は、そのままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も含みません。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。コンパック製品に対する保証については、当該製品に付属の限定保証書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

Compaq DRTapeソリューション リファレンス ガイド
第2版（2001年4月）
製品番号 225231-192

目次

このガイドについて

表記上の規則	v
本文中の記号	vi
装置の記号	vi
ラックに関する注意	vii
コンパックのWebサイト	vii

Compaq DRTapeソリューション

はじめに	1
システム要件	2
ディザスタリカバリソリューションの使用	3
ディザスタリカバリテープの作成	3
テープドライブを使用したシステムの復旧	3
オートローダーを使用したシステムの復旧	4

索引

このガイドについて

このガイドでは、インストール手順を説明します。また、操作、トラブルシューティング、および将来必要となるアップグレードの手順についても説明します。

表記上の規則

このガイドでは、以下の表記規則を採用しています。

キー	Enter や F10 などのキーの名前は、太字で、先頭の文字だけを大文字で表記します。2つのキーの間の正符号 (+) は、それらのキーを同時に押さなければならないことを示します。
ユーザ入力	別の字体の大文字で表記します。
ファイル名	イタリック体の大文字で表記します。
メニュー オプション、 コマンド名、 ダイアログ ボックス名	[]で囲み表記します。
コマンド、 ディレクトリ名 およびドライブ名	すべて大文字で表記します。
タイプ	「タイプしてください」と指示されている場合、キーボードから情報を入力した後に Enter キーを押す必要はありません。
入力	「入力してください」と指示されている場合、情報を入力した後に Enter キーを押します。

本文中の記号

本文中の以下の記号の意味を示します。



警告: その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがある警告事項を表します。



注意: その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがある注意事項を表します。

重要: 詳しい説明や具体的な手順を示します。

注: 解説、補足または役に立つ情報を示します。

装置の記号

安全上の注意が必要な装置の各部には、以下の記号が表示されています。



装置の表面または内部部品に触れると感電の危険があることを示します。カバー内には、一般のユーザが修理できる部品は入っていません。

警告: 感電を防止するために、このカバーを開けないようにしてください。



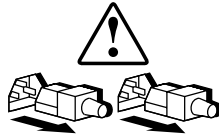
これらの記号が貼付されたRJ-45ソケットはネットワーク インタフェース接続用であることを示します。

警告: 感電、火災または装置の損傷を防止するために、電話または電気通信のコネクタをこのソケットに接続しないようにしてください。



装置の表面または内部部品の温度が非常に高くなる可能性があることを示します。この表面に手を触れるとやけどをする場合があります。

警告: 表面が熱くなっているため、やけどをしないように、システムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。



電源やシステムにこれらの記号が付いている場合、装置の電源が複数あることを示します。

警告: 感電しないように、電源コードをすべて抜き取ってシステムの電源を完全に切ってください。

ラックに関する注意



警告: けがや装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- ラックの水平脚を床まで延ばしてください。
 - ラックの全重量が水平脚にかかるようにしてください。
 - 1つのラックだけを設置する場合は、ラックに固定脚を取り付けてください。
 - 複数のラックを設置する場合は、ラックを連結してください。
 - 一度に複数のコンポーネントを引き出すと、ラックが不安定になる場合があります。コンポーネントは一度に1つつ引き出してください。
-

コンパックのWebサイト

コンパックのWebサイトでは、最新のドライバやフラッシュROMに関する製品情報を提供しています。コンパックのWebサイト (<http://www.compaq.co.jp/> または <http://www.compaq.com/>) にアクセスするには、インターネットにログオンする必要があります。

Compaq DRTapeソリューション

はじめに

新しいテープ ドライブは、コンパック認定のさまざまなテープ バックアップ ソフトウェア ベンダによって提供されるディザスタ リカバリをサポートしています。災害は、いつでも発生する可能性があります。災害が発生した場合、サーバはクラッシュするか、再起動に失敗するか、または機能上の問題を解決できないまま復旧する場合があります。適切なディザスタ リカバリ ストラテジがない場合、すべてのデータが消失する可能性があります。フル バックアップを実行している場合でも、復旧プロセスでは、サーバを再び実行させるために貴重な時間を費やすことになります。

Compaq DRTapeソリューションは、ディザスタ リカバリ プロセスを簡単にします。障害が発生する前に、DRTapeを使用したフル バックアップが完了していれば、システムは短時間で起動し動作することができます。Compaq DRTapeソリューションには、次の利点があります。

- ディザスタ リカバリ プロセス中に実行しなければならない手順を削減します。
- バックアップおよび復旧に要する時間を削減します。
- 必要な品目（ディスク、CD、およびテープ）数を削減して1本のテープだけで実行できるようにすることにより、ディザスタ リカバリ プロセスを簡素化します。また、この方法により、メディアの損傷またはメディアが使用できないことによる問題が取り除かれるため、正常な復旧が保証されます。

2 Compaq DRTapeソリューション リファレンス ガイド

DRTapeソリューションには、次の機能があります。

- コンパック独自のファームウェア。このファームウェアにより、テープ デバイスは、ディザスタ リカバリ モードで、ブート可能なSCSI CD-ROMドライブをエミュレートできます。
- ベンダ固有のソフトウェア。最小構成のオペレーティング システムをロードして、障害の発生したシステムの復旧を可能にするディザスタ リカバリメディアを作成します。

重要: ベンダ固有のソフトウェアの使用方法について詳しくは、ソフトウェアに同梱されているユーザ マニュアルを参照してください。

- 必要なものを完備する設計。ディザスタ リカバリ プロセス中、CDを使用することなくシステムを復旧します。

システム要件

Compaq DRTapeソリューションの使用には、固有のオペレーティング システム、ドライブ ファームウェア、コントローラBIOS、およびシステム ドライバを必要とすることに注意してください。サポートされているサーバとオペレーティング システムの互換性についての一覧表は、コンパックのWebサイト <http://www.compaq.com/products/storageworks/tape-and-optical-storage/disasterrecovery.html> (英語) で入手できます。

注: テープ ドライブに貼付されている"DR Ready"ステッカーは、適切なファームウェアが搭載されていることを示します。必要な最小バージョンまたはそれ以上のファームウェアを入手していない場合、サポートされているドライブのWebサイトから最新バージョンのファームウェアを含むSoftPaq™をダウンロードできます。



注意: Compaq 66MHz/64ビットWide Ultra3 SCSIコントローラを使用する場合、オペレーティング システムをシステムにロードした後に、Compaq SmartStart for Servers CDを使用してこのドライブを再ロードしなければなりません。

ドライブを再ロードするには、以下の手順に従ってください。

1. SmartStart or Server Support Setup Utility CDをCD-ROMドライブに挿入します。
2. [Install Compaq Server Support]を選択します。
3. 下方向の矢印キーを使用して[Compaq 66-MHz/64-bit Wide Ultra3 SCSI driver (ADPU160M.SYS)]を選択し、[Install]をクリックします。

ディザスタ リカバリ ソリューションの使用

この項では、Compaq DRTapeソリューションを使用してシステムを作成し、復旧する手順を説明します。まず、ディザスタ リカバリ テープを作成して将来使用できるように保管しなければなりません。災害が発生した後、ディザスタ リカバリ テープを準備し、テープ ドライブまたはオートローダーを使用してシステムの復旧および設定を実行します。

ディザスタ リカバリ テープの作成

Compaq DRTapeソリューションは、ご使用のオペレーティング システム、アプリケーション ソフトウェア、およびデータのバックアップを記録したテープで構成されます。

コンパクト製テープ ドライブまたはオートローダーおよびサポートされているソフトウェアを使用して、ディザスタ リカバリ用のテープ バックアップを作成するには、以下の手順に従ってください。

1. DRTape対応ソフトウェアをインストールします。

注: ソフトウェアのインストールについては、ベンダ固有のマニュアルを参照してください。

2. テープ ドライブまたはオートローダーがブート可能なテープ デバイスとして識別され、メディアにコピーするブート可能なイメージの作成を指示するメッセージが表示されます。
3. バックアップ プロセスが完了したら、テープを書き込み禁止にして、将来使用できるように保管します。

テープ ドライブを使用したシステムの復旧

バックアップDRTapeを使用してシステムを復旧するには、以下の手順に従ってください。

1. SmartStart CDを、CD-ROMドライブに挿入します。オペレーティング システムのCDを挿入するように指示されるまで、このCDを実行します。
2. SmartStart CDを取り出します。
3. 最新のDRTapeを準備します。
4. DRTapeが書き込み禁止になっていることを確認します。DRTapeをテープ ドライブにロードします。
5. テープ ドライブ正面の3つのLEDインジケータがすべて点滅したら、15秒以内に、コンピュータまたはテープ ドライブの電源を入れ直します。これでテープ ドライブがディザスタ リカバリ モードになります。

4 Compaq DRTapeソリューション リファレンス ガイド

6. これで、ご使用のシステムは、ディザスタリカバリ モードに入りました。システムが再起動されると、テープ ドライブは、ブート可能なデバイスとして識別されます。オペレーティング システムがロードされた後、ベンダ固有のソフトウェアの画面に手順が表示されます。ベンダ固有のソフトウェアのマニュアルを参照して、復旧プロセスを完了してください。

ベンダ固有のソフトウェアがシステムを復旧したら、システムは通常の動作を実行できるようになります。

オートローダーを使用したシステムの復旧

バックアップDRTapeを使用してシステムを復旧するには、以下の手順に従ってください。

1. SmartStart CDを、CD-ROMドライブに挿入します。オペレーティング システムのCDを挿入するように指示されるまで、このCDを実行します。
2. SmartStart CDを取り出します。
3. 最新のDRTapeを準備します。
4. DRTapeが書き込み禁止になっていることを確認します。DRTapeをオートローダーにロードします。
5. Selectボタンを約5秒間押して、[LCD Menu Mode]に入ります。
6. Selectボタンを使用してカーソルを移動し、Enterボタンを押して、[DR Mode]を選択します。カーソルを[ON]に移動してEnterボタンを押します。
7. ここで、オートローダーのLCDに[Power Cycle To Enter DR Mode]と表示されるので、オートローダーの電源を切って再起動します。
8. 起動時に、デバイスはCD-ROMをエミュレートします。DRモードが認識されると、LCDの第4行目（通常は、Cleaning Request用に予約されています）に"DR Mode"と点滅表示されます。
9. これで、ご使用のシステムはディザスタリカバリ モードに入りました。システムが再起動されると、オートローダーは、ブート可能なデバイスとして識別されます。オペレーティングシステムがロードされた後、ベンダ固有のソフトウェアの画面に手順が表示されます。ベンダ固有のソフトウェアのマニュアルを参照して、復旧プロセスを完了してください。

ベンダ固有のソフトウェアがシステムを復旧したら、システムは通常の動作を実行できるようになります。

索引

A

ADPU160M.SYS 2

C

Compaq 66MHz/64ビットWide Ultra3
SCSIコントローラ
再ロード 2

D

DR 「ディザスタリカバリ」を参照

R

RJ-45ソケット vi

W

Webサイト
互換性についての一覧表 2

お

オートローダー
システムの復旧 4

き

記号
装置の記号 vi

け

警告
感電 vii
ラックに関する注意 vii

こ

互換性についての一覧表
Webサイト 2
コンパックのWebサイト vii

し

システムの復旧
DRTapeを使用 3

そ

装置の記号 vi

て

ディザスタリカバリ 1
オートローダーを使用した復旧 4
システムの復旧 3、4
利点 1
ディザスタリカバリ テープの作成 3

2 Compaq DRTapeソリューション リファレンス ガイド

と

ドライバ

66MHz/64ビットWide Ultra3
SCSI 2

ひ

表記上の規則 v

ほ

本文中の記号 vi

り

利点

ディザスタリカバリ 1